

子どもの貧困対策 東北フォーラム

2024年 10月 25日 金

1. 基調講演

『地域で向き合う 子どもの貧困
—教育と福祉をつなぐ青森の試み—』

吉田美穂 弘前大学 大学院教育学研究科 教職実践専攻 教授
「子どもの貧困」プロジェクト代表

2. 調査発表

あすのば給付金受給者調査
東北在住者集計の発表

3. パネルディスカッション

『先駆的事例に学ぶこどもの貧困対策』

▼パネラー

江川和弥 寺子屋方丈舎理事長（福島県）

川又英子 山形県ひとり親家庭応援センター相談員（山形県）

千葉茉亜莉 特定非営利活動法人 TEDIC 支援員（宮城県）

保坂ひろみ 秋田たすけあいネットあゆむ 代表（秋田県）

山屋理恵 NPO 法人インクルいわて理事長（岩手県）

▼コーディネーター

大橋雄介 NPO 法人アスイク 代表理事

4. 分科会

▼コーディネーター

三浦侑太 NPO 法人アスイク職員

行政関係者も、教育関係者も、議員も、支援者も、東北にお住まいの皆さんも、みんなで考えるきっかけにしませんか？

13:00～

17:00

エル・パーク仙台 スタジオホール

(仙台三越 定禅寺通り館5階) 仙台市青葉区一番町 4-11-1

主催：公益財団法人 あすのば

共催：宮城県

後援：こども家庭庁，一般財団法人仙台こども財団，青森県，岩手県，
秋田県，山形県，福島県

助成：公益財団法人キリン福祉財団

申込みは
こちら⇒



公益財団法人 USNOVA
あすのば
子どもの貧困対策センター

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-18-1 赤坂ヒルサイドビル 5F

電話：03-6277-8199 FAX：03-6277-8519 メール：info@usnova.org



FAX 03-6277-8519
ウェブサイトからもお申込いただけます⇒
WEB www.usnova.org



子どもの貧困対策 東北フォーラム 参加申込書

日時 2024年10月25日(金) 13時00分～17時00分

会場 エル・パーク仙台 スタジオホール (仙台三越5F)
〒980-8543 仙台市青葉区一番町4-11-1 仙台市営地下鉄「勾当台公園」駅直結
オンライン (Zoom) 参加も受付中
(前日までにZoomのID・パスコードなどメールいたします)

参加費 無料

会場参加 / オンライン参加

ふりがな
お名前

ご所属・お肩書

お住まいの都道府県・市町村

電話

FAX

E-mail

【東北フォーラム開催にあたって】

2023年5月に「子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン」が完遂。のべ4,333人の方々にご参加いただきました。国は、子どもの貧困対策を含んだこども大綱を閣議決定しました。今後は、都道府県・基礎自治体でのこども支援計画の改定・策定などがすすめられます。こうした大切な時期に、全国キャラバンでの地方自治体・支援団体とのつながりをさらに発展させ、各地での先駆的な取り組みのヨコ展開や実効性の高い自治体のこども支援計画の策定につなげるために各地でフォーラムを開催します。2024年7月には、関西地区で実施し、三日月滋賀県知事も登壇し、50人(オンライン参加含む)が参加しました。



【公益財団法人あすのばについて】

子どもの貧困対策法成立から満2年を迎えた2015年6月19日に、子どもの貧困対策センター「あすのば」は設立し、9年となりました。あすのばの事業は、①調査・研究とそのデータなどに基づいた政策提言、②全国の支援団体への中間支援、③物心両面での子どもたちへの直接支援の3つの柱です。



これまでに、高等教育無償化・子どもの貧困対策法改正・大綱改定・コロナ禍での低所得子育て給付金などの政策提言が実現。「入学・新生活応援給付金」の支給(2万2429人に8億7816万円給付)などの事業をすすめてきました。

また、もう一つの大きな特徴は、子どもがど真ん中・「センター」のポジションとして、孤立し声を出せない子どもたちの声も大切に作る運営に務めています。全国各地の子ども・若者委員が中心となり、子ども・若者の声を直接、政治や行政に伝え、さまざまな政策の実現につなげています。

【能登こども応援給付金実施中】

能登半島地震で被災した奥能登6市町の困窮するひとり親世帯などの子どもに給付金を届ける「能登こども応援給付金」プロジェクトを実施中です。ご理解とご支援が拡がればと願っています。ぜひとも、ご寄付・応援メッセージとともに情報の拡散にご協力ください。今回の対象者、約1,000人全員にお届けできるよう、みなさんのご協力をお願いいたします。



詳細はこちら